

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp

2ヘクタール19億6100万円の公園は安いか高いか?!

中央北開発

中央北地区100億円の事業計画発表

財政窮迫しているのに?!

と 心中?!

11月1日付広報に載った「川西 BioTown (ビオタウン) の実現に向けて」の中央北地区が今回2ヘクタールに激減。場所も変わって火打前処理場の真ん中。公園を造るためには、公園整備費5億円、汚染土壌対策5億円、火打前処理場解体処分費9億6100万円、合計約20億円。移転補償費42億3600万円を含む100億円の開発計画。これまで、H17~19年度だけで250億円注ぎ込み、今も毎年10億円の借金返済中。

広報では、全然詳細がわかりませんが、それなのに「意見募集」をし、粛々と事業を押し進めようとしています。

川西市は、「中央北地区開発」と心中する気でしょうか。

中央北地区22分の土地の半分は公の土地、住民の財産、住民が地権者です。開発のための事業費は住民の税金です。住民に情報を伝え、意見を聞くことが「市の役割・責任」です。「住んでよかつた」と実感できる住民が主人公の街作りのために声をあげましょう。

市はいったいどこまで福祉を切り捨てるのか

高齢者のききやかな交流の場「ふれあい入浴」「福祉センター入浴サービス」廃止

「高齢者の交流の場の提供」を目的に、公衆浴場を週1回、無料で利用できる「ふれあい入浴サービス」と、一の鳥居、緑台の老人福祉センター及び、清和台の老人福祉施設内地域交流スペースの「入浴サービス」をすべて廃止するとの方針が11月12日の厚生経済常任委員協議会で報告されました。

「ふれあい入浴」は、年間約2万人が利用し、市の負担は約800万円。「一の鳥居」は1万人余が利用し、約173万円。「緑台」は約3万人の利用で約315万円。「清和台」は1000人余で約233万円(計約1500万円)。

私(黒田)は、それぞれのサービスが「高齢者の交流」という目的を十分果たしており、高齢化が進む中で、交流の場としての「入浴の場」の必要性は一層高まること。高齢者が自立し、健康に過ごすためには、公衆浴場やそれに代わる浴場が必要であり、市の支援は絶対必要、と意見を述べ、「廃止ありきではなく、どうしたら存続できるか。有料化も含め存続策を検討すべき」と「廃止」の撤回を厳しく求めました。

障がい者・高齢者福祉施設を無償譲渡

市責任を丸投げ...

また、同協議会では、「行が改善されるといもの政コストの将来に渡る節です。」

減」のため、市の障がい者施設は今でも者・高齢者福祉施設2カ所赤字で、高齢者施設との統を民間に無償譲渡する計一運営で持ちこたえてい画が説明されました。

福祉施設は現在、指定管理施設になった後40年理者制度の導入で運営を、障がい者・高齢者施設民間に委託しています。

市の説明では、「指定管理」「経営が成り立たず廃止理」を続けた場合、「整備になるのでは?」、「市の管事業費約32億円の市債理委託だからこそ、住民の残高9億6394万円は福祉が保証される。国の制市が払い続ける」が、無償度変更にも対応が可能」譲渡すれば、「指定管理料」40年間たかだか1の削減」「大規模改修費30億円の皮算用のために億5332万円がいらな住民の財産である福祉施い」「土地代年1353万設を民間に無償譲渡する円入ってくる」ので、40ことは許せない」と意見を年間で約10億円の収支強くのべました。

保育所の最低基準守れ!

兵庫県保育後援会



堀内 照文さんと共に

10月31日(土)、川西、党政権を進める国の最低基準をなくす方向や国や自治体の責任をなくす直接入所し続けなければ。共ニピラを配布。

「自公政権に引き続き民主 照文さんと訴えました。」

「この国で、年間100人もの人が餓死してゐるなんて。(たんぽぽだより)にいろんなことを教えてもらってる。」という人から、「今も手に持った電話してるんですよ」と...。とつても嬉しい電話。私達のくらしは、政治と深く関わっている。普段はあまり感じないけれど、何か矛盾にぶつかるとよくわかる。

「自分の家で死んでいくことは悪いことですか?」と訴えられる高齢者の方。この国は「人間の尊厳を守る」国とはとてもいえない。

「国会議員さん達が一度介護施設で働いてみたら良いと思う。どれほど大変で、少ない給料か。人間が人間を大切にしない国に未来はありませんよね。」

本当に...

今、私達の小さな声が集まって「この国の政治」をまっとうしようとしている。この変えようとしている。この声をさらに大きく、広く出し続けなければ。

「憲法」と「法律」に溝が

黒豆のしんせき

「この国で、年間100人もの人が餓死してゐるなんて。(たんぽぽだより)にいろんなことを教えてもらってる。」という人から、「今も手に持った電話してるんですよ」と...。とつても嬉しい電話。私達のくらしは、政治と深く関わっている。普段はあまり感じないけれど、何か矛盾にぶつかるとよくわかる。

「自分の家で死んでいくことは悪いことですか?」と訴えられる高齢者の方。この国は「人間の尊厳を守る」国とはとてもいえない。

「国会議員さん達が一度介護施設で働いてみたら良いと思う。どれほど大変で、少ない給料か。人間が人間を大切にしない国に未来はありませんよね。」

本当に...

今、私達の小さな声が集まって「この国の政治」をまっとうしようとしている。この変えようとしている。この声をさらに大きく、広く出し続けなければ。

「憲法」と「法律」に溝が

国民の声を受け止めよ 鳩山政権の姿勢ただす

鳩山内閣に対する、初めての予算委員会論戦が衆参両院でおこなわれ、基本的質疑に日本共産党から笠井亮議員（衆院）、小池晃議員（参院）がたちました。ポイントを紹介します。

後期高齢者医療制度の廃止

後期高齢者医療制度は75歳という年齢だけでほかの世代から切り離し、別の医療保険制度に困り込む、世界に例のない差別制度です。日本共産党が総選挙中の党首討論（8月23日）で、普天間基地について「県外・国外移設が望ましい」と、明言していたことを指摘。そのうえで、人口9万人の宜野湾市のど真ん中に居座る基地の写真パネルを掲げながら、

なぜ公約拒むのか 先送りで平均12%負担増

小池議員（党政策委員長）は、後期高齢者医療制度と保育所の最低基準について、鳩山政権の姿勢をただしました。

ところが、政権について鳩山内閣は、廃止を4年後に先送りする方針を打ち出したのです。

併明に懸念

鳩山由紀夫首相は、コヒューターシステムの改修など「廃止をするだけでも2年はかかる」と答弁。長妻昭厚生労働相は、「4年以内で新しい制度に移行させていく」とのべ、廃止先送りの併明に懸念です。

「役人に2年かかるといわれ、簡単に引き下がったのか」と迫る小池氏。移行するとう「新

覆す発言が

ところが、来日したゲーツ米国防長官がこわもてで、名護市辺野古への新基地建設を要求して以来、重要閣僚から公約を覆す発言が公然と出ています。

これに対し、民主党政義は当時、「火事が起こっているのを消そうと思っっている中に、新たな家の設計図を持ってこない」と無責任だという議論は成り立たない。まず火を止める、まずこの混乱を止めることがわ

「町域の83%を接收され、日夜激しい米軍機の爆音で生活環境が破壊され」

「町域の83%を接收され、日夜激しい米軍機の爆音で生活環境が破壊され」と、地元の嘉手納町議会が可決した反対意見書を紹介しました。

「75歳で人を区別する円以上の値上げです。反論していました。小池氏は、「まず、火を消すという立場に新政権は立ち戻っていただきたい」と要求しました。

「地元の怒りをどう受けとめるのか」とせまる笠井氏に、岡田外相は「日米安保を認めていない共産党と、安保は必要だというわれわれとは根本的に見解の相違がある」と聞き直りしました。

最近の沖縄の世論調査でも県民の71・8%が嘉手納統合案に反対し、67・0%が辺野古移転に反対。69・7%が県外へ国外移転を求めています。笠井氏は「基地撤去が県民の声」「県民の心を正面から受け止めよ」と迫り、岡田外相が05年の民主党政代表時代、外国特派員協会でおこなった講演を紹介しました。

「私が総理になれば、普天間基地の県外・国外への移設実現をめざし、政治生命をかけて交渉したい」と、議場にどよめきが。「やってもらおう」との声も。笠井氏がせまりました。

「鳩山政権が」対等な日米関係と言ったなら、政治生命をかけて、米政府と本腰を入れた交渉をすべきだ。世界を見ても、国民の意思を背景に、外交交渉に本腰を入れて、米軍基地を撤去させた事例が世界にはいくつもある」と。



「よくぞいてくれた」一地元の沖縄県民から反響が相次いだのが、笠井議員（党政策副委員長）の質問（4日）。笠井氏は、沖縄の米軍普天間基地移設・新基地建設問題、深刻さを増す雇用問題について約70分間、鳩山内閣に迫りました。

沖縄普天間 基地問題

笠井 世界に例を見ない危険な基地は一刻の猶予も

米と本腰交渉せよ

「県外、国外移設」公約どこに

笠井氏は冒頭、鳩山首相が総選挙中の党首討論（8月23日）で、普天間基地について「県外・国外移設が望ましい」と、明言していたことを指摘。そのうえで、人口9万人の宜野湾市のど真ん中に居座る基地の写真パネルを掲げながら、

「米軍へは住宅地上空を低空飛行で訓練し、年間約4万5千回の推定離着陸は4万5千回以上」

「04年8月には沖縄国際大学にヘリが墜落。イラク戦争派遣のための訓練中だった」

「04年8月には沖縄国際大学にヘリが墜落。イラク戦争派遣のための訓練中だった」

「北沢防衛相は、辺野古への新基地建設について、一部をグアムや岩国に移す

なく無くななければいけない、これが県民の総意だ。民主党政は「県外、国外移設が望ましい」と公約した。この意味は極めて重い。鳩山 選挙で申し上げた言葉は重い。

から公約違反ではないと主張。笠井氏がこうした重要閣僚の発言は「公約の範囲内なのか」とたずねると、首相は「見直しの最中だから範囲内」と苦しい答弁です。

「選挙中に党首や代表が党首討論で発言したことは公約ではないんだと言ったことになる。では国民は、何を頼りにして政党と候補者を選ぶのか」

笠井氏は、岡田外相が検討している、普天間基地の嘉手納基地への統合案について、地元の嘉手納町議会が可決した反対意見書を紹介しました。

容認できるものではない。」「地元の怒りをどう受けとめるのか」とせまる笠井氏に、岡田外相は「日米安保を認めていない共産党と、安保は必要だというわれわれとは根本的に見解の相違がある」と聞き直りしました。



「町域の83%を接收され、日夜激しい米軍機の爆音で生活環境が破壊され」と、地元の嘉手納町議会が可決した反対意見書を紹介しました。